

第29回

鷹の会

隅田川

2018.1.28 日

大濠公園能楽堂

13:00 開演 (12:00 開場)

指定席 8,000 円 (椅子席)

自由席 6,000 円 (畳敷席)

※未就学児入場不可

※1,000 円プラスで弁当付も可能です。

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:482-545]

ローソンチケット 0570-084-008 [Lコード:83330]

大濠公園能楽堂 092-715-2155

鷹の会 092-711-8005

■主催：株式会社 鷹の会

■後援：鷹尾維教後援会／福岡城東ロータリークラブ／(株)ムトー輸送サービス

安藤皮膚科医院／(有)イケマツマネージメント／(株)大興社／福岡運輸システムネット(株)／(株)明治産業

■運営：RKB ミュース

■お問い合わせ：092-711-8005 鷹の会

鷹の会

平成30年1月28日(日)午後1時
大濠公園能楽堂

◇ 本日の演能解説

舞囃子

天鼓 鷹尾 雄紀

大鼓 白坂 保行
小鼓 曾和 正博
笛 森田 徳和

地謡 川副 憲一
松山 隆之
角当 梅若 基徳
直隆 一夫

仕舞

放下僧 梅若 紀彰
経政 鷹尾 祥史
芭蕉 梅若 玄祥
鉄輪 鷹尾 維教

地謡 川副 憲一
今村 一夫
馬野 正基
川口 晃平

能

隅田川

梅若 千方 山崎千紀呂
梅若 しのぶ 鷹尾 章弘

渡守 宝生 欣哉
ワキツレ 旅人 御厨 誠吾

大鼓 白坂 保行
小鼓 曾和 正博

笛 森田 徳和

後見 松山 隆之
鷹尾 維教

地謡 鷹尾 雄紀
川口 晃平
馬野 正基
角当 梅若 基徳
直隆 一夫

終了予定 午後四時

隅田川

観世元雅作
うららかな春の日の隅田川。都からの旅人(ワキツレ)が、舟に乗り向かいに渡るうとしています。今日は対岸で大意仏があるようで、人が多く集まっています。

そこにあらわれ、舟に乗りうつとする狂女(シテ)は、都で失った子を訪ね探して武蔵国までたどりついた哀れな母親でした。悲嘆にくれた母の心情をあらわす登場の扱いが難しく、まずご注目いただきたいところです。

狂女は渡守(ワキ)との問答で、在原業平(『伊勢物語』)の名にし負はばいざ事問はん都鳥 我が思ふ人はありやなしやとの歌をひき、狂い舞います。本曲一番の舞どころです。

続いて、対岸の柳の下で弔われる哀れな子供のことを語る、ワキの船中での「語り」も重要な聴かせどころです。ちょうど一年前のこの日、都から人買いに連れられてきた子が力尽き行き倒れ、この下の下に眠っているのです。それこそわが子と気付く母。やがて始まる念仏に混じって、愛児が「南無阿弥陀仏」を唱える声が聞こえます。一瞬見えたその姿を抱きしめようとするも、母親の前にあったのはただ塚に茂る草のみでした。

一般に狂女物といわれる能は、最後には再会しハッピーエンドとなりますが、本曲は悲劇中の悲劇と謂われ、現世での再会が叶わない唯一の曲です。

今回の「隅田川」に使う為に、(株)ムトー輸送サービス代表取締役武藤理恵子様より2点の能装束を寄贈いただきました。
また、子方を勤めます山崎千紀呂さん(10)は、6歳よりお稽古をはじめました。能には初めて出演します。



鷹の会

鷹尾 章弘



鷹尾 維教



1966年 福岡生まれ。
鷹尾祥史の二男。
1976年 初舞台 能「仲光」子方。
1988年 56世梅若六郎に入門。
1994年 独立。披露能「石橋」。
2011年 重要無形文化財(総合認定)の保持者となる。
福岡・佐賀・長崎・山形などで教室を開く一方、ワークショップや能

1964年 福岡生まれ。
鷹尾祥史の長男。
1966年 初舞台 仕舞「狸々」。
1983年 56世梅若六郎に入門。
1992年 独立。披露能「石橋」。
2011年 重要無形文化財(総合認定)の保持者となる。
能楽ワークショップや、天神で初の新能を行うなど、現代空間を活かした公演も積極的に行う。今後

福岡出身であり、主に九州で活動する能楽師(シテ方)観世流鷹尾維教・章弘兄弟が2001年1月に発会。
大濠公園能楽堂の定期公演を行いつつ、各地のホールでの公演や、ホテルでのイベント、地域の文化教室を通して、能楽の普及を目的とした活動を行っています。

和食「江藤家」



季節の和食弁当

※写真はイメージです。

フレンチ「アトリエ・オキ」



仏風ランチボックス

有名シェフ no
特別弁当

(2,000円相当)

要予約

入場料プラス1,000円

引換券をお送りします。

092-711-8005

(鷹の会)

ご予約締め切り

1月10日